



平成26年6月27日

各 位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
 代表者 代表取締役社長 児玉 正蔵
 (コード番号 6112)
 問合せ先責任者 取締役執行役員経理部長 田中 教司
 (TEL 027-322-1221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年1月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年11月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

| | 売上高 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|------------------------------------|-------|------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 1,200 | 15 | 10 | 1.00 |
| 今回修正予想(B) | 767 | △240 | △241 | — |
| 増減額(B-A) | △433 | △255 | △251 | |
| 増減率(%) | △36.1 | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年11月期第2四半期) | 862 | △64 | △65 | — |

平成26年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|--------------------------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 2,200 | 50 | 30 | 3.00 |
| 今回修正予想(B) | 2,000 | 15 | 10 | 1.00 |
| 増減額(B-A) | △200 | △35 | △20 | |
| 増減率(%) | △9.1 | △70.0 | △66.7 | |
| (ご参考)前期実績 (平成25年11月期) | 2,010 | 14 | 7 | 0.71 |

修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、月単位での売上は一定しておらず、季節的変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きく、また、当社製品が大型機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレが生じてしまうのが当社事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、売上計上につきましては、当114期第2四半期累計期間における売上高につきましては、発注の取消はありませんでしたが、発注先の計画変更等客先都合に伴う納期のズレコミが発生したこと等で、前回予想数値12億円及び前年同期8億62百万円から、7億67百万円と減少する見込みであります。

利益面につきましては、受注低迷を踏まえ、原価や人件費等諸経費全般に亘り削減に努めてまいりましたが、好採算物件の確保が困難な状況下にあることや、大型製品の据付費・現地工事費等予想外の追加費用が発生したため、遺憾ながら前回発表予想数値10百万円には達せず、表記の当四半期純損失2億41百万円の見込額に減額修正するものであります。

なお、受注状況につきましては、当第2四半期累計期間の受注高は、受注競争激しい中にありながらも、これまで折衝中であつた引き合い物件の成約により、前年同期4億20百万の倍増となる8億88百万円の受注を確保でき、下期の売上増加に期待しているところであります。受注残高につきましても、前年同期末15億59百万円には及びませんが11億24百万円の大台を維持し、更に、現在、国内外を中心に大型案件の引き合いが浮上している中にあり、この成約に向けて努力し受注増加を目指しているところであります。

平成26年11月期通期個別業績予想につきましても、当上半期末の受注残高及び当第2四半期の減額修正に伴い、通期予想数値を減額修正するものであります。

* 上記予想は、現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以上